

これまでのとりくみ

【教育目標】豊かな心と健やかな体を持ち、自ら考え行動できる子どもたちの育成

教育目標を達成すべく、本年度は学力向上プランとして4つの重点アクションを掲げています。

- (1)〔学力向上アクション〕「意欲的に学習に向かう子ども」をめざし、学習のゴールを共有し、ゴールに向かって、子ども同士がつながる授業づくりを進めています。
- (2)〔表現力向上アクション〕「自分の考えを表現できる子ども」をめざし、読書活動やペアやグループ活動を充実させることで、自分の考えの根拠や理由を表現したり、多様な考えにふれたりする機会を大切にしています。
- (3)〔家庭教育推進アクション〕「家庭学習にとりくめる子ども」をめざし、家庭と連携し生活習慣の確立に努めるとともに、家庭学習の啓発を行い、主体的に学習に向かえる習慣づくりにとりくんでいます。
- (4)〔自尊感情向上アクション〕「自分や自分の想いを大切にできる子ども」をめざし、集団づくり・仲間づくりを土台とした学びの空間づくりや、行事や人権学習・生活指導のとりくみを推進しています。

教科の結果より ※数値に関しては、(本校の正答率/全国の正答率)を表しています。

【国語の課題】

- ・目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること(44.4/56.6)
- ・人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること(47.6/72.6)

【算数の課題】

- ・角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できること(57.1/72.0)
- ・必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できること(38.1/44.0 無解答率 20.6/12.6)

※国語・算数ともに、記述式の解答に課題がある。国語(46.0/64.6)算数(43.3/50.1)

【児童質問紙との関連】

国語の学習が好き(38.0/62.0)	学習の大切さは感じているが、前向きな思いをもつにはいたっていない
算数の問題が解けたとき別の解き方を考えようとしている(74.6/63.6)	1つの問題が解けて自信がついたり、多様な考えにふれたりすることを通して、主体的な姿につながっている

児童・生徒質問紙より ※数値に関しては、(本校の回答率/全国の回答率)を表しています。	本校	全国
成果 自分にはよいところがあると思いますか	85.7	84.1
課題 毎日同じくらいの時刻に寝ていますか	63.5	82.9
課題 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器をどの程度使用しましたか(週3回以上)	27.0	59.5

★授業において

- 学習の基盤となる読解力をつけるために、毎日の学習で音読・暗唱・視写などを継続的にとりいれる。
- 自分の考えを伝える力をつけるために、考えや理由などを説明する機会(書く・話す)を充実させる。
- 学習の意味を考えられるように、単元のゴールを子どもと共有する授業づくりを進めていく。
- 自信をもち、前向きに学習に向かう力をつけるために、経験(練習・反復)の積み重ねを大切にし、基礎基本の力を定着させる。

★生活において

- 一人ひとりの「もちあじ」を認め合い、自分らしさが大切にされる集団づくりを推進していく。
- よりよい生活習慣の定着のために、授業や特別活動、集団づくり等学校生活のあらゆる機会を通じて、自らの生活習慣について省みる機会を設け、それぞれの課題に応じた改善ができるように支援していく。また各家庭や PTA、地域にも広く情報発信を行い、協力を求めていく。
- ICT 活用について、各学年の実態に応じたスキルの定着に努めるとともに、それぞれの子どもや学習に合った効果的な活用を推進していく。

全国学力・学習状況調査の結果より

これからのとりくみ